



県内にお住まいの65歳以上の皆さんに、交通安全意識を高めさせていただくとともに、耳慣れた秋田弁を活用して広く県民に交通事故防止を呼びかけるため、「交通安全作品コンクール」として、秋田弁を使った川柳を募集しました。応募作品84句の中から入選作品を紹介します。

あきた弁の“味ッコ”をじっくり堪能してたんせ！



最優秀賞

あぶねがら “ながら運転” やめでけれ
(あぶないから “ながら運転”は やめてくれ)

大仙市

三橋

一雄さん

優秀賞

「ちよつとぐれ、えがべ」と思う気の緩み
(「ちよつと位はいいだろう」とつい思ってしまう油断)

能代市

小野

真澄さん

佳作

気付けねな さつとの油断 命取り
(気をつけてね 少しの油断 命取り)

秋田市

石田

敏子さん

うるだぐな 心にゆとり 譲り合い
(あわてるな 心にゆとり 譲り合い)

能代市

宮腰

昭一さん

横断歩道 人が居たら 先ず止まれ！
(横断歩道 人が居たら 先ず止まれ！)

大館市

糸屋

幸男さん

手こ上げで 停車しながら わだらねば
(手を上げて 停車確認 して渡る)

大潟村

佐藤

豊さん

人の為世のため返(け)した免許証
(人の為世のため返した免許証)

横手市

岸部

良作さん

「お守りこ泣ぐよに揺れる事故車両」 酔月
今回は昨年の倍近い84句の応募があり素晴らしい作品ばかりでした。
あきた弁は地域性がありますが、全体に解り易い作品が選ばれたように思います。

最優秀賞

「あぶねながら “ながら運転” やめでけれ」
スマホで会話しながらの「ながら運転」は注意力が散漫になり、本人が思っている以上に危険な行為と言えます。
お互いに注意したい。

優秀賞

「ちよつとぐれ、えがべ」と思う気の緩み
交通事故はほんの僅かな不注意で起きてしまうもの。カッコ書きが絶妙な表現。緊張感をもって運転したいものです。

佳作

「気付けられな さつとの油断 命取り」
車の運転は家族にとっても心配なこと。運転者は慣れっこになっているかもしれないが、何度でも注意するに越したことはない。
「さつとの油断」が言い得て妙。

「うるだぐな 心にゆとり 譲り合い」
車の運転は常に沈着冷静であるべきだが、日常生活の中ではそうもいかないことが多々ある。そんな時こそ心を落ち着けるようにしたい。

「横断歩道 人がえだら まんづ止まれ！」
流れがまいちの句ですが、お年寄りの優しい注意が沁みってくるようでとてもいい。

「手こ上げで 停車してがら わだらねば」
歩行者が横断歩道で立っていても必ずしも止まってくれない車もいる。
要注意です。

「人の為世のため返(け)した免許証」
高齢者の事故が相次いでいるが、大事になる前に免許証を返納するに越したことはない。

令和2年度 交通安全作品コンクール 「あきた弁川柳」 審査会委員

- 長谷川 酔月 「あきたの文芸」川柳部門選考委員
- 小野 誠 一般社団法人秋田県交通安全協会専務理事
- 瀧澤 徳彦 秋田県教育庁生涯学習課長
- 加藤 伸一 秋田県警察本部交通部首席参事官兼交通企画課長
- 齋藤 秀樹 秋田県生活環境部県民生活課長

